

## 書塾の仲間たち

第 228 回

### 片山書道教室（埼玉県さいたま市南区）



#### ●書塾からひとこと●

「書」を通して、子どもたちが活躍できる場を作りたい、自信を持つてもらいたい。さいたま市南区の自宅で書道教室を始めたのはそんな思いがきっかけでした。

教室を始めるにあたり、競書誌を検討していく中で、文部科学省の学習指導要領に基づいた競書誌である月刊「書写書道」と出合えたことは本当に良かったと思っています。

本業の傍ら、教室をスタートしてまだ一年足らずですが、活動の一つに、埼玉県の全学校が参加する「書き初め展」「硬筆展」に向けての練成会があります。その練成会でも、月刊「書写書道」の課題を活用した日頃の練習の大切さを改めて感じました。

毎月の競書課題の練習や、展覧会に向けての練成会でレッスンスケジュールが埋まってしまうことがほとんどです。でも、展覧会がない時期は、「書くこと」を気軽に楽しむワークショップなどもレッスンに取り入れています。その内容を考えることもまた、私の楽しみの一つとなっています。

子どもの伸びるペースや時期はその子によってさまざまです。一人一人に合わせて指導するために、添削時のコミュニケーションや伝え方、タイミングなど、まだまだ課題は多いですが、意識しながら取り組んでいます。最近では、私のアドバイスが分からなかつた際、どう分からなかつたかを、深く質問してくる子も出てきました。感心すると同時に、とても頼もしく感じています。レッスン毎に子どもたちが成長し、一生懸命取り組んだ課題が昇級していると私も本当に嬉しいですし、子どもたちにとっても、やる気と自信につながっていることは明らかです。

これからも試行錯誤しながら、子どもたちの成長をサポートできるよう、一緒に楽しみながら学んでいきたいと思います。

片山書道教室  
片山 陽子  
※書塾に連絡したい方は事務局へお問い合わせください。

私は、小学一年生の頃から書道教室に通い始めました。始めたきっかけは、母に「字は一生使うものだから、綺麗に書けたほうが良いよ。」と言われたことです。その時、一生使うのなら上手に書けるようになりたいなと思ふたことを覚えています。

小学校の書き初め展などで受賞したり、自分の納得のいく作品を書けたりすると、大きな喜びと達成感が得られます。さらに、書道教室に通い、たくさん練習したことで、学校の友達から「字が綺麗だね。」と言われる事が増えました。そう言われると嬉しくて、練習をもっと頑張りたくなります。

今までで一番、書道を習っていて良かったことは、手紙を書いた時です。友達の誕生日に、プレゼントに添えて手紙を渡しました。次にお礼と共に「字が綺麗だったからかな、すごく嬉しかった。」と言われて、私もとても嬉しくなりました。その時、字は気持ちを伝えて人と人を繋げてくれるのだと感じました。

それから、字を書く時は一文字一文字を丁寧に、気持ちを込めて書くようになります。あせっていると字にも表れてしまうので、精神を安定させ、気持ちが伝わる字を書けるよう、日々の練習に励みたいと思います。

私は、小学一年生の頃から書道教室に通い始めました。始めたきっかけは、母に「字は一生使うものだから、綺麗に書けたほうが良いよ。」と言われたことです。その時、一生使うのなら上手に書けるようになりたいなと思ふたことを覚えています。

小学校の書き初め展などで受賞したり、自分の納得のいく作品を書けたりすると、大きな喜びと達成感が得られます。さらに、書道教室に通い、たくさん練習したことで、学校の友達から「字が綺麗だね。」と言われる事が増えました。そう言われると嬉しくて、練習をもっと頑張りたくなりります。

私は、小学一年生の頃から書道教室に通い始めました。始めたきっかけは、母に「字は一生使うものだから、綺麗に書けたほうが良いよ。」と言われたことです。その時、一生使うのなら上手に書けるようになりたいなと思ふたことを覚えています。

小学校の書き初め展などで受賞したり、自分の納得のいく作品を書けたりすると、大きな喜びと達成感が得られます。さらに、書道教室に通い、たくさん練習したことで、学校の友達から「字が綺麗だね。」と言われる事が増えました。そう言われると嬉しくて、練習をもっと頑張りたくなりります。

気持ちが伝わる字を書きたい

筑波大学附属高等学校一年 石川 恵海

中三 石川 恵海



## 私と書写書道 第228回

先生方のような美しい字を目指して

千葉県立松戸六実高等学校一年 丸山 梨沙

中三 丸山 梨沙



私が書道に出会ってから八年が経ちます。始めたきっかけは祖父の紹介でした。「読み、書き、そろばん」が大切だと言っていた祖父が、私が今通っている書道教室の体験へ連れて行ってくれました。教室に入ると、先生方が明るい笑顔で迎えてくださいました。その日のことは今でも鮮明に覚えています。最初に教えていただいたのは自分の名前の書き方です。それまで字の書き方を気にしたことのなかった私は、先生のお手本を見て一生懸命に先生の字を真似しました。今でも時々、当時使っていたノートを見返しています。私が書いた字に先生が初めて花丸をつけてくださった時は本当に嬉しかったです。優しく教えてくださり、字を書くことがすごく楽しく感じられて、書道が好きになりました。

私が八年間、書道を続けてこられたのは先生方や家族、一緒に習っていた友達のおかげです。最初から上手く書けることはありませんでしたし、部活動で行けない日も多く、周りの人たちとの実力の差に悩んでいた時期もありました。しかし、先生方からのたくさんのアドバイスや家族からの応援、友達からの励ましの言葉があつて今も続けることができています。

八年という期間で、私がいろいろな面で大きく成長できたのは多くの方々の支えがあったからです。それを胸に日々、感謝の気持ちを忘れず、楽し